

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和8年1月14日

協議会名: 千曲市地域公共交通活性化協議会  
 評価対象事業名: 地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)
補助申請者:千曲市地域公共交通活性化協議会 運行事業者:更埴観光タクシー(株)	系統名:東部地区デマンド型乗合タクシー 運行エリア:千曲市東部地区	●乗合率の向上に対する取組: 生活交通確保維持改善計画「公共交通利用につながる情報発信」に基づき、介護保険のケアマネや障害福祉サービスのプランナー、社会福祉協議会、地域生活支援コーディネーターや地域のサロンリーダーの会合に参加し、個人的なニーズにおける利用や、地元区によるイベント等における利用促進のための説明会を実施し、実際に利用の相談があった場合は、チャシのテンプレの提供や登録・予約事務に対する事務補助を実施した。  ●65歳以上の高齢者や、運転免許証自主返納者への支援: 生活交通確保維持改善計画「運転免許証自主返納者に対する支援」に基づき、免許自主返納者支援については、循環バス・デマンド型乗合タクシー共通利用券の増額(3,600円から12,000円)及び利用期限(1年間)の撤廃等支援内容の拡充を図った。	A 計画通り事業は適切に実施された。	○年間利用者数 目標値:4,599人 実績値:5,136人	●行政負担額の削減・収支率の向上に対する取組: ・乗合の普及啓発のための各団体等への説明会及びイベント等開催におけるチャシの作成や登録・予約事務の補助を継続して実施する。 ・地域公共交通計画(本体)に基づき、料金体系についても見直しを検討する。
				○行政負担額 目標値:1,287万円 実績値:1,381万円	
				○収支率 目標値:8.2% 実績値:7.0%	

## 事業実施と生活交通確保維持改善計画との関連について

令和8年1月14日

協議会名：	千曲市地域公共交通活性化協議会
評価対象事業名：	地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金
地域の交通の目指す姿 (事業実施の目的・必要性)	<p>本地区の高齢化率は約36.2%と市内でも特に高齢者の多い地区の一つである。地域内の道路は大きなバス車両では通行できない狭い道路が多く、里山からなる傾斜地のため、循環バス停留所までのアクセスが困難なバス利用不便地域となっていた。</p> <p>このため、小型車両による運行で道路の狭い集落地内をカバーでき、停留所の数も多く配置することができるデマンド型乗合タクシーを運行することで高齢者等交通弱者の日常生活の移動手段の維持・確保をしていきたい。</p>

【参考】令和6年度事業評価書

別添2

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表  
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和7年2月27日  
北陸信越運輸局

評価対象事業名:地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金

協議会名	①補助対象 事業者等	②事業 概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における二次評価結果
			③前回(又は類似事業)の事業 評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果 達成状況	⑥事業の今後の 改善点	評価結果
千曲市地域 公共交通活 性化協議会	更埴観光タ クシー株式 会社	系統名:東部 地区デマンド 型乗合タク シー 運行エリア: 千曲市東部 地区	◆前回事業評価結果(今後の改 善点) 時刻表の表現方法を工夫し、見 やすさ、分かりやすさの向上を図 る。 65歳以上の高齢者や、運転免許 証自主返納者への支援を継続 実施する。 ◆上記の反映状況 バスとデマンド型乗合タクシーの 掲載ページを区分するなどし、時 刻表マップの見やすさ、分かりや すさの向上を図った。65歳以上 の市民を対象とした運賃割引、 運転免許証自主返納者への 3,600円分の補助については、今 年度も引き続き実施した。	A 計画通り事業は適切に実 施された。	C 計画に位置づけられた目標を 達成できなかった  目標値:1便あたり 2.0人 実績値:1便あたり 1.4人  停留所の増設等により、運行回数は増加したもの の、利用者の発着地点にばらつきがあることが多く、 また、エリア内の遠距離移動も多かったことから乗合 が進まず、目標値に達しなかった。  R5 1便あたり 1.7人 運行回数:1,510回 利用者数:2,642人  R6 1便あたり 1.6人 運行回数:1,555回 利用者数:2,566人	乗合率を向上させるため、様々 な機会を通してグループ利用の 呼びかけを行うとともに、配車す る際に、出来る限り乗合となるよ う利用者との調整を行う。  また、地域の福祉団体等と連携 し、説明会を開催するなど、事業 内容の周知と乗合利用の促進に 向けた取り組みを進める。  65歳以上の高齢者や、運転免許 証自主返納者への支援につい ては継続実施する。運転免許証 自主返納者への支援について は、拡充を検討する。	協議会における事業評価結果の③から⑤までにつ いては自己評価のとおりである。 なお、⑥の事業の今後の改善点については、実績向 上に向けて新たな具体策及びその具体化について も改めて検討し、その実施について地域一体となっ て適切に進めていくとともに、今後も適切な検証を行 い、地域公共交通の持続性向上や利用促進が図ら れるよう期待する。